

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービスkai  
実施日：2022年3月28日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善項目、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別対応のデイサービスであり、利用者と職員のマンツーマンスペースが十分確保出来ている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			担当スタッフとマンツーマンで90分間活動している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	入口に段差あり。トイレに手摺無し。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			全職員で毎週2時間ミーティングを行い、課題確認や振り返りを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			全保護者にアンケート調査を実施し、意向を把握している。保護者と公式lineで繋がり、ご意向やお子さんの様子を適宜連絡していただいている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当法人HPにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	開設して半年のため、第三者評価を受けていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎週ベテラン職員が研修を行っている。外部学習会への参加を励行している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談に十分な時間を確保しており、子どもの様子はマンツーマンで関わる担当スタッフが常に観察分析している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			クラウド内で担当職員がアセスメントを毎回上書きし、他職員がいつでも確認できる仕組みになっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当チームが定期的に企画している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			定期的に学年に合わせた企画や、興味関心に対応するイベントを行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後、不登校児童の日中活動、遠方よりの通所者に合わせた休日や長期休暇対応を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別に特化した当デイサービスと、近所に集団を強みにしているデイサービスとをバランスよく活動してもらっている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		個別支援のため、関わる職員同士は事前に打ち合わせを済ませており、その日の担当者は計画に沿って支援を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	マンツーマン支援のため、その日の担当者は様子を記録する。相談などは児童発達管理責任者に行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の担当者は様子を記録し、保護者へ報告を行い、今後の支援の改善計画を行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			長くとも半年に一度のモニタリングを実施している。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		ガイドラインや基本理念について忠実に支援を行っている。	
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必ず児童発達支援管理責任者と、担当者が同席している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善項目、工夫している点など
関係機関 や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		必要なお子さんに対しては徹底できている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		担当者が受診の際に立ち合わせていただき、直接質問を行い、情報共有をしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	小学生高学年からの受け入れデイサービスなので、情報共有が必要なケース以外は行っていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			高校生の利用者が多く、福祉的就労や訓練機関へ繋ぐケースが多く、確実にアセスメントなどの情報を引き継いでいる。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	行えていない。
	㉖	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	マンツーマン支援のため、他機関との交流の機会が少ない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			必ず参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的な面談、臨時の面談、LINEによる質問や要望を常に受けつけて対応している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		個別面談などで適宜アドバイスを行っている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に詳しく説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			公式LINEを活用し、頻繁に連絡を取り合い、リアルタイムに対応している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者同士の連携を促す支援は、まだ行えていない。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明書に記載している。 社会福祉協議会、市の障がい福祉課。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、郵送している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			紙媒体の資料は鍵付きキャビネットにて保管。クラウド内はパスワードを設定。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			90分間マンツーマンのため本人の気持ちを読み取れやすい。保護者とは常にlineなどでやりとりしている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		NPO法人が主催する防災イベントなどで地域交流しているが、十分とは言えない。
非常時	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者へは契約時、職員へは入職時に周知している。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		簡単なもののみ共有している。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		行っているが十分ではない。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善項目、工夫している点など
等 の 対 応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束を必要とする場面が無く、事前説明を行っていない。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの情報に基づいて対応しているが、医師からの情報は無い。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	口頭では頻繁に共有しているが、事例集を作成していない。